

Topic of town

まちの話題



雄勝

雨音かき消す400発花火 おがつ夏まつりにぎわう



帰省時期に合わせた恒例の「おがつ夏まつり」が8月11～14日に道の駅硯上の里おがつで開かれました。11日は台風の影響で中止となりましたが、残りの3日間は予定通り開催となり、地元ならではの海鮮焼きの販売やキッチンカーの出店、ステージイベントがありました。最終日の夜の花火大会はあいにくの天気でしたが、400発が雄勝湾一帯を明るく照らし、多くの人を魅了しました。



最終日の夜の花火大会はあいにくの天気でしたが、400発が雄勝湾一帯を明るく照らし、多くの人を魅了しました。

石巻

おいしく学ぶ水産業

子どもすし作り体験

小学5、6年生が体験を通じて地域の自然や文化、歴史などへの学びを深める「ふるさと子どもカレッジ」が8月29日、すしネタなどを製造する東日本フーズ㈱で行われました。参加した約20人は工場見学や好きなネタを選んだすし作りを体験し、海外にも輸出される地元の水産業への理解を深めました。最後は体験で作ったすしを味わい、食の安心安全についても考えました。



河北

暑さ避けてステージ行事満喫

サマーフェスタ・イン・かほく

河北地区の夏を彩る「サマーフェスタ・イン・かほく」が8月8日、ビックバン周辺で開かれました。今年は熱中症対策として、ステージイベントを涼しい屋内で実施し、親子に大人気のビンゴ大会や、地区内外の出演者による舞台に、会場の涼しさを忘れるほどの熱気に包まれました。屋外では、会場を所狭しに並んだ屋台も大いににぎわい、フィナーレには花火が北上川を彩り、河北の夏の夜を飾りました。



屋外では、会場を所狭しに並んだ屋台も大いににぎわい、フィナーレには花火が北上川を彩り、河北の夏の夜を飾りました。

桃生

心震わすジブリ映画の音楽

君をのせてカルテット公演

「となりのトトロ」などジブリ映画の音楽を楽しむコンサートが8月23日、桃生公民館で行われました。ギター、チェロ、バイオリンの奏者4人による「君をのせてカルテット」の石巻公演で、まちづくりなどに取り組む一般社団法人ものうGHIBLIが主催しました。桃生中学校吹奏楽部の佐藤絵さん（フルート）や石巻オカリナサークル「ぽっかぽか」も協演し、約200人の客が劇中の場面を思い浮かべるように耳を澄ませました。



桃生中学校吹奏楽部の佐藤絵さん（フルート）や石巻オカリナサークル「ぽっかぽか」も協演し、約200人の客が劇中の場面を思い浮かべるように耳を澄ませました。

河南

夏の夜を彩る陸上灯籠

和渚夏まつり

陸上灯籠で有名な「和渚夏まつり」が8月15日、旧北上川沿いの和渚水辺の楽校で行われました。実行委員会や住民らが制作した約8千個の灯籠が並べられ、会場を優しい光で包み込みました。盆の帰省者を含め、多くの人が足を運び、灯籠の光を映した笑顔が七色に輝いていました。祭りでは和渚小学校児童のソーラン踊りが花を添え、締めくくりに花火も打ち上がりました。



祭りでは和渚小学校児童のソーラン踊りが花を添え、締めくくりに花火も打ち上がりました。

牡鹿

食も郷土芸能も盛りだくさん

65回目の牡鹿鯨まつり

第65回牡鹿鯨まつりが8月8日、ホエールタウンおしかで開かれました。海で亡くなった人だけでなく鯨の霊も供養し、捕鯨文化を継承する祭りです。おなじみの「鯨炭火焼き」は、約500食の振る舞いがあつという間に終了する人気ぶり。捕鯨船前のステージでは地元小中学生の太鼓演奏やソーラン節踊り、郷土芸能の七福神舞、金華山龍（蛇）踊りといった演目が目白押しで、最後は360発の打ち上げ花火が港町の夜空を焦がしました。



捕鯨船前のステージでは地元小中学生の太鼓演奏やソーラン節踊り、郷土芸能の七福神舞、金華山龍（蛇）踊りといった演目が目白押しで、最後は360発の打ち上げ花火が港町の夜空を焦がしました。

北上

県産スギで本棚作り

夏休みの親子らDIY

北上公民館で8月7日、夏休み恒例行事「こどもDIY教室」が行われ、親子ら計26人が5班に分かれて引き出し付きの本棚作りに集中しました。県産スギを使った本棚で、美里町でDIYスタジオを開く、たかのひろみさんが作り方を教えました。たかのさんは「みんなから良いところを学びましょう」と呼びかけると、参加親子は協力して完成を目指しました。



たかのひろみさんが作り方を教えました。たかのさんは「みんなから良いところを学びましょう」と呼びかけると、参加親子は協力して完成を目指しました。